



No.53

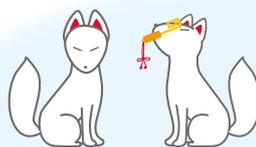
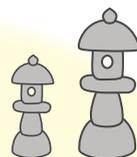
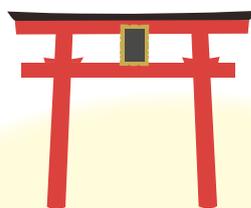
平成31年
3月1日発行

かみかわ町 議会だより

➤ 議会を傍聴しませんか？

第1回定例会は3月4日(月) [午前9時～ 一般質問等]
から14日(木)を予定しています。

◎ 4月21日(日)は、神川町議会議員一般選挙の投票日です。



はつうま 「初午祭り」

(撮影者「フォーカス友の会」須藤 宣幸さん
高柳 智子さん)

2月の立春後、初めて午の日を初午と言い、地区によって稲荷様の祭りが行われています。下阿久原の池尻地区もそのひとつで、2月10日に地域の皆さんが集まり、お祭りが実施されました。また同地区には、初午の日には風呂を立ててはいけないとか、火を使ってはいけないという伝承もあるとのこと。

● 主な内容 ●

- 平成30年度神川町一般会計補正予算(第2号)など補正予算を可決
- 神川町議会委員会条例の一部を改正する条例などを可決

かみかわ町議会だよりはユニバーサルデザインフォントを使用しています。

定例会のあらまし

平成30年度第4回神川町議会定例会は、12月5日から13日までの9日間の会期で開かれ、町政に対する一般質問が行われたほか、町長から提案された平成30年度一般会計及び特別会計の補正予算8件、契約1件、条例の改正等8件（うち議員提案2件）、請願1件、意見書の提出1件の計19件の案件が審議されました。

町政に対する一般質問

一般質問は、12月5日に行われ、7名の議員が町長をはじめ町当局の考えについて質問しました。概要は、次のとおりです。



柴崎 愛子 議員

公園整備について

「ゆ〜ゆ〜ランド炊事場の修理について」

ゆ〜ゆ〜ランドには、週末や連休に大変多くのテントが張られ、大勢の方が楽しんでいきます。5月3日のゴールデンウィークには、かなの湯の有料スペースに47張り、土手西側の無料スペースに89張り、ひしめき合っていました。女子トイレには長い列ができ、炊事場には、蛇口は3栓ありますが、正常に使用できるのは1栓で、1つは吐水口がつけ根から破損していて、もう一つはハンドルがない状況で、炊事場にも列ができていました。来場者に聞くとネットの口コミ情報でこの場所を知ったと言っていました。今は良いことも悪いこともネットに書き込む時代です。ゆ〜ゆ〜ランドは、神川町として誇れる場所だと思っております。来場者にとって使いやすい場所にすべきと考えますが、町の考えを伺います。

答え 町長

「利便性の向上に努めます。」

神川町にはゆ〜ゆ〜ランドという立派な運動場、広場がございます。ゆ〜ゆ〜ランド内の自由広場につきましては、週末ともなりますと、数多くのキャンプのテントが張られます。町内、町外を問わ

ず、大勢の家族連れでにぎわう状況となっております。そのような中で、議員ご指摘のとおり、炊事場の蛇口が壊れておりました。これでは利用者に対して非常に不便をかけるということで、担当課に早急の対応を指示し、修繕を実施したところです。今後も利用者の利便性の向上や、安全の確保に努めたいと考えています。

消火設備の見直しについて

「各大字の消火設備の老朽化について」

各字に街角消火器、消火用のホース・ノズルの格納箱があります。また、字によっては地上式の消火栓があり、それらの老朽化が大変進んでいます。街角消火器は、町内を3つに分けて交換がされているようです。格納箱は、赤いボックスの足元がさびているため、地域の方が突っかい棒をしたり、扉が外れているのをロープで縛ったり、壊れてしまったので木製で作ったりしているものもあります。さらには、扉も中身も何にもないボックスもありました。加えて、舗装していない道路の下に昭和30年代に造ったと思われる防火水槽が何カ所あり、その水槽の蓋に四角い鉄板に、蓋を外すための取っ手が出ているため、夜間に歩く時、つまずいて危険だと感じています。これらの消火設備を町はどのように管理しているのでしょうか。そして、町として今後改善計画があるのか伺います。

答え 町長



「計画的な整備を推進します。」

消火栓についてですが、現在町

内には275基あります。そのうち、地上式は49基、地下式は226基で、地上式の消火栓には古いものが多い状態です。毎年、水道管布設工事や道路改良工事等にあわせて、地上式から地下式へ

と移行しております。加えて併設されている消防ホースの格納庫については、地下式消火栓に改修後、

随時撤去を行っているとあります。

また、街角消火器としては、

180基の消火器が設置されております。消火器には使用期限があることから、平成26年から28年の3カ年で更新を行いました。今後も計画的に更新を行ってまいります。修繕等につきましては、早急

に対応してまいりたいと考えています。



滝沢 邦利 議員

所有者不明土地・家屋及び耕作放棄地への対応について

「所有者不明の土地や家屋の現状と今後の取扱い、高齢化や後継者不足による耕作放棄地増加への対応について」

所有者不明の土地、家屋に係る財政的負担と町としての活用、処理方法について伺います。所有者不明の土地・空き家の軒数の把握は出来ていますか。自治体として取り組むべき財政措置と、町の資産となった場合の土地・空き家の活用方法などです。また高齢化、後継者不足で耕作放棄地の増加がみられ、児童を含む通学・通勤時の危険の発生防止策や自然発火、放火による火災防止策が必要となります。危険とみなされる場所の町の指定はできていますか。また実情把握としての土地所有者との接見はできていますか。

答え 町長



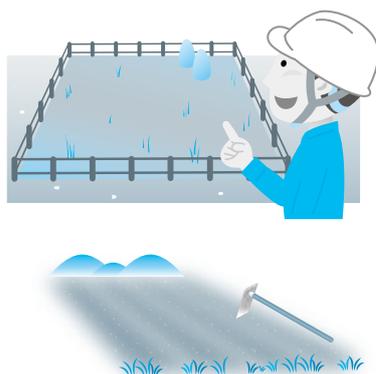
「一層の現状把握に努めます。」

所有者不明の土地につきましては、課税情報をもとに確認をしているところで事実上不明となっているものは、数件程度という状況です。空き家については、空き家等対策の推進に関する特別措置法の施行により、平成27年から区長さん、環境衛生推進委員さん等の協力を得て調査を行い、空き家と認定したものが現在253軒と

なっています。引き続き、把握に努めてまいります。また、町では、老朽化した空き家につきましては、解体補助金として、1軒30万円を交付しておりますが、今後も空き家の増加が予想されることから、国、県の動向を踏まえ、対策を検討したいと思っております。次に、高齢化、後継者不足による耕作放棄地増加への対応ですが、町でも、農業者の高齢化と後継者不足による担い手の減少や相続等による非農家の増加などによりまして、農地の不耕作化が進んでおります。こ

うした中で、農業委員会等と連携して耕作放棄地の実態調査や個別相談を実施するなど不耕作化防止に努めておるところです。本年度の調査結果の速報値では、耕作放棄地と思われる農地が約330筆、面積では約32ヘクタールという状況です。防犯上危険とみなされる場所については設定をしておりますが、適正に管理されていない農地につきましては、農業委員会より農地の適正管理の通知を発送し、改善に努めておるところです。

また、農地以外の土地についても防災環境課より適正管理の通知を所有者に発送しております。



少子高齢化社会に対する神川町の施策について

「2025年がもたらす超高齢社会への神川町としての施策、職住近接を望む子育て女性が増加する社会変化への対応策について」

2025年に団塊の世代が75歳を迎え超高齢化社会となります。高齢者を如何に保護し「安全で安心な町」を目指して行けるかが行政の

重要な課題となります。医療・介護、認知症対策、給付のバランスの乱れによる低所得者の増加が町を襲います。町はどのような施策で迎え撃つか伺います。また、少子化社会の進展に歯止めをかけ、子育て世代の女性の「住まいと職場が近くにあることを望む気持ちの高まり」に応える施策も必要です。11月6日、7日の2日間、長野県の下條村に行政視察に行っていました。当初村営集合住宅2カ所でしたが、9年度から18年にかけて10カ所に拡充、家賃は飯田市内の半額に設定し、子育て世代の計画的な人口増を果たし、出生率日本一を維持しています。町も子育て女性世代に見合った施策が求められていますが考えを伺います。

答え 町長



「第2次総合計画の重点方針のひとつです。」

団塊の世代が75歳を迎える2025年には、日本の高齢者人口は、65歳以上で3,657万人、そのうち75歳以上は2,179万人と推計され、町でも65歳以上で4,550人、75歳以上は2,475人との推計があります。そこで地域包括支援センターを核に、地域包括ケアシステムの充実

を目指して、自立支援型の介護予防事業を平成29年度より本格的にスタートしました。事業としては、筋力維持による介護予防対策や認知症対策、独居高齢者訪問、医師会との医療・介護連携、配食・おむつ支援・地域サロンでの講話などの生活支援に加え、適切な財産管理を促す成年後見制度の推進なども行っています。今後、民生委員さんや民間事業者とも連携をとりながら、住みなれた地域で暮らし続けることができるよう、10年

後を見据えたシステムの充実を図っているところです。さらには、低所得の高齢者支援として、施設サービスを利用する方の居住費、食費の負担軽減を行っております。また、在宅で介護サービスを利用されている方は、サービス利用料の一部を助成する介護サービス利用者負担助成の制度もありますので、利用いただければと思います。今後も低所得者の高齢者の方への支援の充実を図りたいと思います。次に、職住接近を望む子育て女性への対応策ですが、視察された下條村の状況等をお話いただき、当町と似た部分があると感じたところです。今後、女性に限



らず、子育てをしながら働く方へのサポート体制のさらなる充実を考えているところです。また、このたび策定した第2次神川町総合計画の中にも子供を気軽に預けられる場所の整備や相談体制の確立など、各種保育サービスの充実を盛り込んだところです。さらに給食費の無償化といった「子育て・教育支援」に加え、民有地の活用支援等により、町全体の効果的な土地活用を進めながら定住促進を図る「土地利用計画」などについても重点方針と位置づけ、一層積極的に取り組みたいと考えています。





川浦雅子議員

敬老会について

「敬老会のあり方について」

以前、敬老会は町の主催で行われていましたが、現在は、行政区老人会が行っています。しかし、敬老会を老人会が行うことに疑問を持つ方もいて、町でやってほしいという要望があります。また、地区により、欠席者や施設入所者への配り物等の対応も様々です。金額増の要望もあります。高齢者が祝ってもらう会としての敬老会のあり方どのように考えていますか。

答え 町長

「敬老会は継続して実施します。」

現在の敬老会は、平成20年度より各地区の老人クラブが主体となって実施をしていただいております。

ます。その経緯につきましては、対象者の増加、また収容可能な会場の確保、送迎の問題、財政上の理由等の諸事情により、各地区にお願いをしたものと思っております。今後、ますます対象者は増加していくと予想されますので、実施

主体についての課題はございますが、引き続き各地区での地域敬老会の開催をお願いしたいと考えております。

助成金につきましては、1クラブ当たり3,000円、人数割として75歳以上の人数に対しまして600円を乗じた金額を助成しており、施設入所者も含まれております。そして、様々な方法で地域の

実情に合った敬老会が実施されております。



在宅介護について

「高齢者要介護4又は5の在宅介護者手当について」

要介護4又は5の在宅介護の家族負担は、精神的にも、体力的にも、経済的にも、外から見えにくい計り知れないものがあります。住み慣れた家に居たいという本人の要望や、また、家族も入所はかわいそうという思い等、理由は様々ですが、負担は大きいです。介護保険を使えば自己負担が発生します。ぜひ、在宅介護をされている要介護4又は5の方の家族手当を増額してください。また、申請を全家族が出来るようにしてください。

一 般 質 問

答え 町長



「継続して周知を図ります。」

町では、65歳以上で要介護4または5の区分に認定されている方を在宅で介護している同一世帯の家族の方に月額8,000円の介護手当を支給しております。そのような中、要介護4または5の区分に認定されている方140人に対し、介護手当の支給申請者は、11月1日時点で25人と、非常に少ない数字となっております。理由のひとつとしては、施設に入所されている方や長期間入院されている方、制度を知っているが申請しない方もあるようです。町では、ホームページや広報掲載での周知のほか、介護手当申請担当と介護認定審査担当が連携し、新たに要介護4または5の区分に認定された方へ、制度の説明を郵送しているところで、今後も継続してまい

ります。また、支給額の増額ですが、美里町は5,000円、上里町が7,000円、神川町と本庄市が8,000円という現状を踏まえ、介護をされるご苦労は十二分に承知しておるところですが、慎重にしなければならぬと考えております。



商工業振興について

「育成活動支援強化と、予定されている消費税増税への対応について」

埼玉県小規模企業振興基本条例は、平成29年12月に施行されました。町でも、ぜひ条例化して、地域の中小企業の経営と、地域経済の振興と持続発展の為、自治体の支援を明確化していただきたい。また、住宅リフォーム助成制度の周知に努め、多くの方が利用できるよう、予算をしっかりと組んで頂きたい。また、商工業者の大半は、国民健康保険加入であるため、税額を下げる努力と、子供の均等割り廃止を考えてほしい。また、消費税増税中止とインボイス制度の廃止を求める意見書を国に提出し、住民や中小業者を守って頂きたい。

答え 町長



「各種補助を充実させます。」

町内中小企業者への育成活動支援強化についてですが、現在町では商工業振興の要であります商工会への活動費補助や町内企業者の

経営安定を図るための制度融資及び信用保証料の補助、また地域経済の活性化を図るための住宅リフォーム補助を実施しているところです。この住宅リフォーム補助事業につきましては、活用実績を踏まえ、今議会の補正予算に増額を盛り込むほか、来年度予算に向

けては拡充の検討もしているところ
ろです。

また、新規起業者のための創業
支援事業につきましても、昨年度
から実施をしているところで、今
後も関係機関との連携を強化し、
中小企業者の必要な支援策を講じ
てまいりたいと思います。次に消
費税増税への対応ですが、販売品
目により軽減税率制度が導入され、
複雑な経理を行う必要が生じるこ



坂本貴佳議員

学校のトイレについて

「トイレの洋式化について」

今年、政府では学校トイレの洋式化推進が打ち出されました。神川町の学校・幼稚園でのトイレ洋式化率は49%強ですが、都内では洋式化率が80%を超える区もあると聞きます。

とで、経費や労働力などの負担増
が想定されます。こうした町内業
者の負担を軽減するため、国の動
向を見ながら、商工会や近隣市町
と連携し、対策を検討したいと考
えています。

また、国民健康保険の国保税で
ございますが、町の国保税は県内
でも低い状況であることから、現
状を維持したいと考えています。

現在の家庭は洋式トイレが主流で、小便も座って行うよう教えている家庭が増えてきている。そのような中、最適ではないが、災害時には体育館を避難所として利用するしかありません。多くの利用者（特に高齢者）の日常生活を考えれば、体育館トイレの洋式化は必須と考える。過去の遺物になりつつある和式トイレや小便器に、限りある予算を使い維持する必要はないと思うが、町・教育委員会は学校トイレの洋式化をどう推進するのか、方針をお聞かせ願います。

答え 教育長

「計画的な整備に努めます。」

現在の小中学校のトイレの設置状況は、和式、洋式合わせて大便器が225カ所、洋式化率は約42%となっています。各家庭におけるトイレの洋式化が進んでいることは承知しており、それに配慮しながら計画的に整備していく必要があると考えています。また、学校は大勢の子供が一度にトイレに殺到することや、災害時に避難所となった場合にも、小便器を使

う人が大勢出てくるのが予想されますので、全てを変更ということとは難しいと考えております。今後も、小中学校のトイレの整備につきましては、国や県の動向を注視し、補助制度等を積極的に活用したいと思えます。





廣川 学 議員

町の職員研修について

「研修の現状・これから、町の活性化への考え方について」

町の職員方が受けている研修について伺います。現状の研修はどのようなになっているのか伺います。今月、新庁舎の引き渡しがあり、年明けには利用が始まりますが、それに対しての研修はあるのでしょうか。新庁舎になり、町民の方の職員に対する期待も大きいと思われるのですが、その対策用の研修などは考えているのでしょうか。加えて、是非、町に取り入れたいと町長の命を受け、あるいは、こんな先進地があるので行かせてほしいと職員自身が希望して、実際に研修に行くことはあるのでしょうか。よく答弁に出る近隣ばかりでなく、もっと広く目を向け、町の活性化につながるような研修を行う機会があると良いと思いますが、町長のお考えを伺います。

答え 町長



「職員研修の充実を図ります。」

現在、全職員を対象に年間研修計画を策定し、公務員としての自覚や責任、職務遂行に必要な基本知識の習得など勤務年数や役職に

応じた研修への参加を推進しております。内容は、児玉郡市広域市町村圏組合で実施される新採用職員研修から管理職研修までの基本研修や行政法や法制執務等の専門研修、さらには彩の国さいたまづくり広域連合で開催されます人材開発事業や特別研修に参加し、職員個々のスキルアップや公務能力の向上を図っておるところです。今後も町の将来を担う職員を育成するために、政策形成や専門能力の向上・開発に努めていきたいと

考えております。また、新庁舎移転に当たりましては、子育てサービス窓口の統合・連携を予定しており、職員の意識改革や住民目線に立ったサービス向上に努めてまいります。また、広域連合や埼玉県町村会が実施する人材交流事業や視察研修への参加促進に加え、職員みずからまちづくりのための視察や自己啓発研修を希望した場合の予算も計上しているところで、今後も一層の活用を進めたいと考えております。



赤羽 奈保子 議員

風疹の予防接種について

「風疹予防接種の助成について」

本年7月以降、首都圏を中心に全国的に風疹の感染拡大が続いています。今回の流行は、予防接種制度の谷間で定期接種を受けられなかつ

た30代から50代の男性が多くを占めているそうです。風疹の流行で特に心配なのが妊娠初期の女性が感染すると、赤ちゃんに難聴や白内障、心臓疾患という先天性風疹症候群が起るおそれがあるということです。埼玉県では、妊娠を希望する16歳から50歳の女性と、その配偶者は抗体検査を無料で受けることができますが、予防接種についての助成はありません。風疹の予防接種は高額で、夫婦2人で予防接種を受けるとなると、大きな負担になります。これから子供を産み育てていくという方への支援という点からも、風疹の予防接種の助成をしていくべきと考えますが、町の考えを伺います。

答え 町長



「国等の動向を注視します。」

現在、全国的に風疹が流行しており、過去に予防接種を受ける機会がなかった30歳から50歳代の男性の感染が多く報告されているところです。議員ご指摘のとおり大人が風疹に感染すると、発熱や発疹の期間が子供に比べて長引くことや、妊娠初期に感染すると、生まれてくる赤ちゃんに、先天性風

疹症候群の心配があることが知られています。風疹の予防には、予防接種が最も有効とされ、風疹ワクチンを接種することにより、95%以上の人が風疹ウイルスに対する免疫ができると言われており、お問い合わせのあった方には、埼玉県が無料で実施する風疹抗体検査をお勧めすることと合わせ、検査の結果によって、予防接種を受けるよう指導を行っているところです。今後、予防接種の費用助成につきましては、埼玉県内63市町

村のうち、18市町村が対象者を定めて実施している状況にあること

から、国等の動向を見ながら検討をしたいと考えております。

学校体育館へのエアコン設置について

「指定避難所になっている学校の体育館のエアコンの設置について」

神川町の小中学校の体育館は、災害時の指定避難所になっております。さらに日常的に式典行事や地域の活動の場としても利用され、災害時には地域の皆さんを長期間にわたり受け入れることが想定されます。阪神・淡路大震災や東日本大震災では半年以上にわたる避難生活を送る中、震災関連死と言われる方の約4分の1は、空調管理が不十分なことにより、体育館でインフルエンザの流行や誤えん性肺炎、東日本大震災では寒さにより高齢の方が多く亡くなっています。今年は想定外の災害が各地で起こり、神川町にもいつ想定外の災害が起こるかわかりません。避難所として体育館がいつ使われても大丈夫なように、学校の体育館へエアコンを設置する考えがあるか伺います。

答え 町長



「教室設置のエアコンを活用します。」

学校の体育館につきましては、災害で住宅が使用できない場合の

避難所として設定されておりますが、体育館への避難については、現在の計画の中では一時的なものとして捉えておりまして、長期の避難は学校の教室等を考えております。教室には全てエアコンが設置されていますので、それを利用するこ

ととなる予定です。そのため、防災対策としての体育館へのエアコ

ン設置計画は、現段階では考えておりません。



落合周一 議員

神川町の未来像について

「神川町の子育て支援、神川町の福祉政策について」

平成29年1月に行われた町長選挙において山崎新町長は数々の公約を町民に約束されましたが、その公約の進捗状況について伺います。特に今回はこども園の建設に前向きな方針を述べていたにもかかわらず、簡単にその方針を変えてしまった理由、また中学生のスクールバスの導入、給食費の無償化の政策等の実現に向けての進捗状況を伺います。また、各地区での高齢者のためのサロン活動を応援し、さらなる充実を推進すると述べておりました。町長は具体的にどのような応援を考えているのか伺います。

答え 町長



「意見を聞きながら事業を進めます。」

認定こども園計画は、建設候補地が農振農用地であり、除外申請が平成33年度まで待たなければならず、現段階では必ず除外が認められるとは言えない状況にもあり

ます。さらに、除外ができたとしても、用地買収や設計、建設工事等、開園するまでにはさらに数年かかることが容易に予想されます。そういった中で、保護者等から認定こども園にこだわらず、早く施設を新しくしてほしいという声もあります。特に、丹荘保育所は老朽化が著しい上に、園児数も多く保育室が手狭であるという問題に加え、駐車場等についてもご不便をおかけしている状況であることから、現在の施設の近くに用地を確保し、新たに施設を建てかえることを考えています。青柳保育所、神川幼稚園については、今後の入所、入園希望者の状況を見ながら、あらゆる可能性も含め検討をしたかと考えています。次に、スクールバスについては、路線バスとの競合問題など、多方面での調整を要することもあることから、問題を整理し、実施に向けて検討を重ねています。また、給食費無償化については、来年度から神川在住の小中学校の児童生徒を対象に

実施する方向で進めています。次に、ふれあい・いきいきサロンについては、地域の交流の場を設けることで、安心して楽しく暮らせるよう民生委員や老人クラブ、ボランティアの方など地域の皆さんが工夫を凝らし、自主的に運営をしている活動であり、町としての支援は、社会福祉協議会を通じて新規立ち上げ費用や運営費用の一部を助成するとともに、サロン活動に関する相談などを担っているところです。この活動を町内全域に広げるためには、社会福祉協議会に対する人的・財政的支援が必要と考えておりますので、町職員の派遣や補助金の交付に加え、赤い羽根共同募金への理解と協力をお願いできるよう取り組みを行いたいと考えています。

※一般質問の全文は、議会事務局の会議録で閲覧することが出来ます。また、ホームページでも閲覧出来ます。

議案審議の結果

12月定例会は、平成30年度一般会計及び特別会計の補正予算、条例改正などが審議され、それぞれ原案どおり可決されました。

人事関係

◎人権擁護委員候補者を同意

任期満了となる、人権擁護委員の再任について、町長から同意案が提出され、満場一致で同意されました。

氏名	住所	生年月日
長谷川 隆 氏	神川町大字新宿1109番地5	昭和28年2月19日

条例関係等

件名	内容	審議結果
神川町町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例	人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、一般職員と同様に町長等の期末手当の支給率を改正するもの	○
神川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、神川町職員の給与に関する条例を改正するもの	○
神川町税条例等の一部を改正する条例	地方税法の一部改正に伴い、所要の改正をするもの	○
神川町手話言語条例	手話の普及等に関する施策の推進を図るため条例を制定するもの	○
神川町過疎地域自立促進計画の変更について	神川町過疎地域自立促進計画を変更するもの	○
神川町議会委員会条例の一部を改正する条例	神川町議会の議員の定数を定める条例の一部改正に伴い、所要の改正をするもの	議員提案 ○
神川町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、町長等と同様に議会議員の期末手当の支給率を改正するもの	議員提案 ○

※審議結果 ○全員賛成(可決) △賛成多数(可決) ×賛成少数(否決)

予算関係

◎平成30年度神川町一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ637万2千円を追加し、総額を70億1,087万9千円とするもの。

○歳入に追加された主な項目

国庫支出金 ▲93万2千円

県支出金 156万9千円

繰入金 ▲2,032万1千円

町債 2,590万円

○歳出に追加された主な項目

〈総務費〉 67万4千円

〈民生費〉 1,366万5千円

〈衛生費〉 ▲89万1千円

〈農林水産業費〉

▲2,810万3千円

〈商工費〉 51万3千円

〈土木費〉 87万4千円

〈消防費〉 581万6千円

〈教育費〉 1,374万5千円

〈審議結果〉 全員賛成 原案可決

◎平成30年度神川町国民健康保険
特別会計補正予算(第3号)

事業勘定の歳入歳出それぞれ、
14万9千円を追加し、総額を15億
5,490万7千円とし、施設勘
定の歳入歳出それぞれ、20万9千
円を追加し、総額を1億908万
円とするもの。

【事業勘定】

○歳入に追加された主な項目
国民健康保険税

繰入金 169万6千円
▲158万4千円

○歳出に追加された項目

総務費 11万2千円
基金積立金 2千円
諸支出金 3万5千円

【施設勘定】

○歳入に追加された項目
繰入金 20万9千円

○歳出に追加された項目
総務費 20万9千円

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成30年度神川町後期高齢者医
療特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ、139万3
千円を減額し、総額を1億2,8
55万3千円とするもの。

○歳入に追加された主な項目
繰入金 ▲139万3千円

○歳出に追加された項目

総務費 7万7千円
後期高齢者医療広域連合納付金
▲147万円

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成30年度神川町介護保険特別
会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ、3,229
万4千円を追加し、総額を11億3,
900万2千円とするもの。

○歳入に追加された主な項目

国庫支出金 702万6千円
支払基金交付金 864万円
県支出金 475万円

○歳出に追加された主な項目
繰入金 1,187万8千円

総務費 29万4千円
保険給付費 3,200万円

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成30年度神川町公共下水道事
業特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ、52万円を追
加し、総額を1億4,901万5
千円とするもの。

○歳入に追加された主な項目

繰入金 52万円
○歳出に追加された主な項目
総務費 52万円

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成30年度神川町町営バス事業特別会計補正予算(第1号)
債務負担行為によるもの。

事項	期間	限度額
町営バス運転業務委託	平成31年度	654万円

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成30年度神川町観光事業特別会計補正予算(第2号)
債務負担行為によるもの。

事項	期間	限度額
城峯公園指定管理料	平成31年度	900万円
冬桜の宿指定管理料	平成31年度	700万円

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成30年度神川町水道事業会計
補正予算(第2号)

第3条予算の収益的支出に51
5万7千円を追加し、補正後の
額を2億9,274万2千円と
し、第4条予算の資本的支出に
577万2千円を追加し、補正後
の額を1億4,721万4千円と
するもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案可決



契約関係

◎工事請負契約の変更

件名 神川町新庁舎建設

工事（電気設備工
事）

変更の内容 契約金額から

216万円を減

額し、3億6、

720万円とする

もの

〈審議結果〉全員賛成 原案可決



請願

◎総務経済常任委員会

件名 全国一律最低賃金の制

度化に向けての請願

要旨 地域の最低賃金の底上

げを目的とした全国一

律最低賃金の制度化に

向けての国への意見書

提出を求めるもの

請願者 本庄・児玉郡市地域労

働組合連合会 議長

北村晴夫

〈審議結果〉継続審査

意見書

◎文教厚生常任委員会

件名 群馬大学医学部附属病

院に係る特定機能病院

の早期承認を求める意

見書

要旨 高度医療の提供や医師

の育成・確保するため、

群馬大学医学部附属病

院の特定機能病院の早

期承認を求めるもの

〈審議結果〉全員賛成 原案可決



※本誌は、主に議長出席の行事を掲載しています。

議会日誌

10月



1日 全員協議会

議会活性化特別委員会

町民体育祭

地域安全大会

埼玉県町村議長会研修会

ハートフルデイ2018

こだま青年会議所50周年

記念式典

コスモスマツリ

議会活性化研修会

総合計画審議会

臨時議会運営委員会

神川中学校合唱コンク

ール

冬桜まつり

埼玉県町村議会議長会役

員会

11月



1日 全員協議会

議会活性化特別委員会

国保運営協議会

学校公開（青柳小）

町民文化祭

消防団特別点検

後期高齢者医療広域連合

議会

6日～7日 総務経済・文教厚
生常任委員会合同視察研
修

12日～13日 児玉郡町議会議長
会視察研修

16日 福島県三春町視察研修受
け入れ

19日 地方議会活性化シンポジ
ウム

20日 議会運営委員会

斎場運営委員会

梨共進会表彰式

21日 社会福祉協議会事業説明
会

26日

30日 全員協議会

新庁舎進捗説明会

国保運営協議会

12月



1日 神川幼稚園生活発表会

2日 ステラ神泉まつり

5日 第4回定例議会（一般質
問、補正予算説明等）

6日 議会活性化特別委員会

7日 総務経済常任委員会

8日 交通安全防止運動キャン
ペーン

13日 光の祭典in神川

15日 第4回定例議会（条例、
補正予算等質疑・採決）

26日 塙保己一賞表彰式

広域議会第4回定例会